

陳情一覽表

(令和8年第1回定例会)

【2月議会】

秋田県議会事務局

総 括 表

委員会名	送付件数
総務企画委員会	2
福祉環境委員会	0
農林水産委員会	0
産業観光委員会	0
建設委員会	0
教育公安委員会	1
合 計	3

総務企画委員会

受理番号	件名	提出者	頁	備考
11-2	私立学校(私立専修学校・各種学校)への助成強化並びに建学の精神に基づく特色ある教育の促進について	██████████	5	
12	東京都新宿区において顕在化した事例を受けた、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止について	██████████	7	

福祉環境委員会

受理番号	件名	提出者	頁	備考
	なし			

農林水産委員会

受理番号	件名	提出者	頁	備考
	なし			

産業観光委員会

受理番号	件名	提出者	頁	備考
	なし			

建設委員会

受理番号	件名	提出者	頁	備考
	なし			

教育公安委員会

受理 番号	件 名	提 出 者	頁	備 考
11-1	私立学校(私立高等学校、私立幼稚園)への助成強化並びに建学の精神に基づき特色ある教育の促進について	[REDACTED]	10	

【現 況】

○ XXXXXXXXXX 関係

1 学費負担軽減、教育の質向上のための補助強化

私立専修学校各種学校の経営の安定と学費負担の軽減を図るため、次のとおり補助を行っていることに加え、「職業実践専門課程」の認定校に対して、指導力向上のための教員研修等にかかる経費等の補助を令和5年度から実施している。

○私立専修学校・各種学校運営費補助金

年度	一人当たりの助成額
R5	34,680円
R6	34,680円
R7	34,680円

2 県主催「進学相談会」の継続実施

令和7年12月21日（日）に、県主催の進学相談会を秋田拠点センターALVEで開催し、相談ブースに約130名、体験ブースに約170名の高校生と保護者の方が来場した。今年度の課題等を踏まえ、来年度の継続実施に向けて検討を行っている。

3 県内各高校内で実施される業者主催の進路ガイダンス参加費用の補助

「進路ガイダンス」への参加は、各専修学校における広報活動の一種であり、当該費用を対象とする補助制度はないが、県内高校生の県内高等教育機関等への進学を推進するため、昨年度に引き続き今年度も県内高等教育機関等を一堂に会した進学相談会を開催している。

備考

要 旨

現在では、政党機関紙の電子版も発行されており、希望があれば、職員個人が自宅等で自由に申し込み、購読・支払いができる社会環境が整っている。そのため、職員が庁舎内で勧誘・配達・集金を受ける必要性はなくなっており、本人の意思に反する庁舎内購読を見直すことは、結果として庁舎における政治的中立性の確保にも資する状況となっている。

これまで多くの自治体において、「行政としては職員から具体的な相談がない」という理由から、政党機関紙購読に伴う職員の苦痛やストレスが表面化せず、「なかったこと」とされてきた。しかし、実態調査を行うことで、行政が職員の本音や実情を把握できるようになった事例が各地で確認されている。貴自治体においても、「政党機関紙の勧誘行為が行われていないか」「その勧誘により心理的な圧力を感じている職員がいないか」について、まずは現状把握に努めていただきたい。

また、庁舎管理規則により、庁舎内における勧誘・営業行為は原則として禁止されている。これは地方議員による政党機関紙の勧誘行為についても同様であると考えられる。については、当該規則の趣旨を踏まえ、地方議員に対してもルール遵守を改めて確認する対応を行っていただきたい。

政党機関紙の勧誘は、役職者の新規任命が行われる3月末から4月上旬に集中する傾向がある。従来から課題として認識されてきた側面はあるが、新宿区等で明確な実態が顕在化したことを鑑み、庁舎内での勧誘行為を通じて、議員から職員に対する心理的圧力や意思に反する購読が生じることのないよう、貴議会として早急な確認をお願いする。

【現 況】

(政党機関紙の購読勧誘等に係る調査について)

- 令和7年度に、知事部局の職員に対して実施したハラスメント全般に関するアンケート調査では、自由記述において、「地方議員から政党機関紙の勧誘を受け、心理的な圧力を感じたり、断りきれずに購読している」旨の回答はなかった。

(政党機関紙の購読勧誘等に係る心理的圧力を感じた職員について)

- 政党機関紙の購読勧誘等に関連して、これまで地方議員を行為者とするハラスメント相談は受けたことがない。

備 考

【現 況】

1. XXXXXXXXXX

(1) 私学教育の振興に向けた公私間での入学定員の調整

私立高等学校の各校長や有識者、公立学校の関係者を構成員とする「秋田県公立高等学校協議会」を開催し、入学定員等に対する私立学校の意見を反映させるための機会としている。

(2) 経常費一般補助の拡充

私立高校の経営の安定と保護者の経済的負担の軽減を図るため、国庫補助、地方交付税に加え、県単独で嵩上し生徒単価を算定のうえ、助成している。

○私立学校運営費補助金（一般補助）

年度	1人当たりの助成額
R 7	380,983円
R 6	377,186円
R 5	373,984円

※高等学校（全日制）に対する助成額

(3) 特色ある私学教育を十分に実践できる助成費等の拡充

平成22年度から「あきた私学魅力アップ支援事業」を実施し、教育相談体制の整備、外部人材の活用など私立学校の特色ある教育活動に対して助成を行っている。

(4) 生徒の教育環境を公私の別なく整備できる助成費等の拡充

「私立高等学校学習環境改善事業」として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、生徒が学習に集中できる環境を整備するため、私立学校の冷房設備の設置費用、1人1台端末購入費用、トイレの洋式化及び自動水栓化等に要する経費を助成した。

また、光熱費の価格高騰に対応するため、電気・ガス料金等の上昇分に対して助成を行っている。

(5) 「公私共存」と「教育の無償化」への理解・協力

家庭の経済事情にかかわらず、希望する質の高い教育を受けられるよう保護者負担の軽減等を図るため、次のような助成を行っている。

①高等学校等就学支援金（平成22年度から（令和2年度制度改正））

国の「高等学校等就学支援金」制度により、令和2年度から年収590万円未満の世帯については授業料が実質無償化されている。また、県の独自支援として、年収620万円未満の世帯について、令和5年度より支援金を増額している。

- ・保護者収入が910万円未満程度を対象に、年額118,800円助成
- ・保護者収入が620万円未満程度を対象に、年額237,600円助成（嵩上げ対象）
- ・保護者収入が590万円未満程度を対象に、年額396,000円助成

令和7年度は年収910万円以上の世帯について、年額118,800円を上限に臨時支援金を給付し、公立学校授業料相当が所得に関係なく実質無償化となった。

②私立高等学校授業料軽減補助（昭和53年度から）

国の高等学校等就学支援金の対象外となった低所得世帯に対し、県独自で授業料を軽減するための助成を行っている。

- ・保護者収入が590万円未満程度 月額1万円負担となるよう補助

③私立高等学校入学料軽減補助（平成21年度から）

低所得世帯を対象に、県独自で入学料を軽減するための助成を行っている。

- ・生活保護世帯及び非課税世帯 県立高等学校入学金相当(全日制5,650円)となるよう補助
- ・保護者収入が590万円未満程度 負担額が「入学料の半額+県立学校の入学料」となるよう補助

④高校生等奨学給付金（平成26年度から）

低所得世帯を対象に、授業料以外の教育費への助成を行っている。

- ・生活保護世帯 52,600円
- ・都道府県民税及び市町村民税所得割額非課税世帯（年収270万円未満程度）
 - 全日制 152,000円
 - 通信制、専攻科 52,100円

2. XXXXXXXXXX

- (1) 授業料以外の教育費（入学金・施設整備費・教育充実費・教材費・制服費等）に対する支援の拡充
- (2) 公私間の生徒一人あたりの公費支出額の格差是正と、公費支出の公平化
- (3) 就学支援金拡充制度の確実な実施と、将来にわたる恒久的制度化

「高校生等奨学給付金」により、低所得世帯に対して、授業料以外の教育費（教科書、教材費、学用品費、通学用品費等）の負担を軽減する支援を行っている。

また、県独自で低所得世帯に対して、授業料や入学料への補助を行っているほか、「高等学校等就学支援金」の拡充に向け、令和8年度当初予算に計上している。

3. XXXXXXXXXX

- (1) 私立の幼稚園・認定こども園振興充実

【幼児教育・保育の質の維持・向上】

幼児教育・保育の質の維持・向上を図るため、日頃から市町村と連携を図り、公立・私立や幼稚園・認定こども園等の別なく、全ての就学前教育・保育施設に対して研修機会の提供や訪問指導等を行っている。

特に、令和元年度から実施している「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」では、能代市、横手市、大館市、男鹿市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、東成瀬村の10市村及び幼保推進課に「教育・保育アドバイザー」等17人を配置し、就学前施設への巡回訪問のほか、地域での研修や幼保小連携の推進などに取り組んでおり、引き続き、配置市町村の拡充に努めていく。

また、幼児教育・保育の質の向上には、多忙化する幼稚園教諭等の業務負担の軽減を図り、教育・保育に専念できる環境を整えることが重要であることから、園児の登降園管理事務等のICT化に要する経費に対して助成するなど、幼稚園教諭等が安心して働き続けることができる職場環境づくりに取り組んでいる。

(2) 保護者負担の一層の軽減

【給食費の全額無償化】

令和5年度12月及び令和6年度2月補正予算において、食料品等の価格高騰の影響を受けている幼稚園、認定こども園等に対する支援策としての予算を計上し、給食費（副食費）の価格高騰分への補助を行っている。

また、今年度12月補正予算においても同様の予算を計上しており、こうした支援策を通じて保護者の負担軽減も図っている。なお、給食費に係る恒常的な保護者負担の軽減については、「すこやか子育て支援事業」の副食費助成により行われている。

(3) 幼稚園教員・保育教諭処遇改善と資質向上

① 0歳児担当の待機保育教諭の人件費補助

市町村が各施設に支弁する施設型給付費については、年度途中からの利用児童数の増加を想定した利用定員に基づく年間の必要経費が賄えるよう制度設計されている。

しかしながら、昨今の育児休業取得率の上昇が施設運営に与える影響については、十分に把握し切れていないことから、関係団体や就学前施設の協力も得ながら、実態の把握に努め、県としてどのような支援ができるのか研究していく。

② 幼稚園教諭等の県外・他業種への流出防止

幼稚園教諭等がやりがいを持ち、安心して働き続けることができる職場環境づくりを進めるため、幼稚園教諭等の処遇改善やICT化等による事務負担の軽減を市町村と連携して実施している。また、県内養成施設と連携し、魅力ある職場・職種としての情報発信に努める。

③ 一種教員配置に対する補助拡充

平成30年度から、幼稚園教諭一種免許状を保有する教員が在籍する幼稚園に対して、在籍人数に応じて補助しており、令和5年度からその単価（1人当たり年額）を引き上げている。

○私立幼稚園運営費補助金（一種教員配置）

年度	1人当たりの単価（助成額）
R5	15,000円
R6	15,000円
R7	15,000円

④一種上進支援

二種免許状を保有する幼稚園教諭が働きながら一種免許状を取得するには、勤務形態による時間的制約があるほか、県内で養成課程講座を担当する講師の確保に課題があることもあり、養成機関となり得る秋田大学での対応が難しい状況にある。

このため、県外大学で開設しているオンライン講習による一種免許状の取得に係る情報の提供に努めている。

（4）特別支援教育の充実

①補助単価の水準引き上げ

県として、令和8年度から、新たに市町村等による障害児保育補助への上乗せとなる支援事業を行うこととしている。

また、国の責任において、補助制度を見直し・拡充するよう要望しており、今後も継続して要望していく。

②補助制度全体の見直し

国の責任において、補助制度を見直し・拡充するよう要望しており、今後も継続して要望していく。

③担当者の資質向上に対する支援

教職員の経験年数に応じた資質向上研修の中で特別支援教育に関する研修を複数実施しており、今後も継続的に支援を行っていく。

また、各地域の特別支援学校のセンター的機能を活用し、依頼があった幼稚園等に対しては、必要に応じて特別支援教育の教育専門監が訪問等により状況把握・助言等を行っている。

（5）幼保小架け橋期プログラム推進と幼児教育の特性の啓蒙

【幼保小架け橋プログラムの推進】

一層の推進を図るため、架け橋期のカリキュラム開発・実施や評価に関する参考資料をウェブサイトに掲載し、より使いやすいよう工夫しているほか、研修会等で活用を促している。

【小学校への啓蒙】

遊びを通して総合的に学ぶ乳幼児期の教育は、小学校以降の生活や学習の基礎に繋がることの理解を促すためのリーフレットを作成し、県内の各小学校や就学前教育・保育施設等に配付しているほか、就学前・小学校等地区別合同研修会で活用し、小学校教諭・幼稚園教諭等の相互理解や学びを深めており、今後も継続していく。

【家庭・地域への啓蒙】

前記リーフレットは、県内全ての5歳児の保護者にも配付し、乳幼児期の教育の重要性等について理解啓発を図っているほか、ウェブサイトや各種広報媒体を活用し周知している。

(6) 在宅育児支援事業創設

国の児童手当や妊婦のための支援給付金のほか、県においても、福祉医療費の助成等を行っている。

また、出産・子育て家庭に対して伴走型相談支援を行う「こども家庭センター」等の運営費を市町村に対して助成しており、相談・サービス提供体制の充実を図っている。

(7) こども子育て支援新制度の見直し

給付の枠組みの見直しや提出書類の簡素化等については、全国知事会等を通じて要望しており、必要に応じて今後も国に要望していく。